

a la carte.

あらかると

2022.12

431



双葉町役場 新庁舎

双葉町の「いま」

双葉町の「いま」

福島県双葉町は2022年8月30日に原発事故による帰還困難区域のうち一部の避難指示が解除されました。これにより双葉町に住むことが可能になり、事故から11年を経て福島県のすべての町で住民が暮らせるようになりました。今回はそんな双葉町の「いま」をご紹介します。



双葉町役場

これまで役場機能を県内外へ移してきましたが、避難指示解除に合わせ、町内に新庁舎を開庁し9月5日から業務を再開しました。行政機能が町に戻ることに伴い復興への歩みを加速させていきます。



新聞配達／折込の再開

新聞配達が開通され、10月1日より双葉町への折込チラシの手配も可能となりました。50部からのスタートですが11月15日には100部へ増となっています。双葉町で暮らす住民の方へ生活の大切な情報をお届けしています。

周辺市町村の配達状況

- ・広野町…700部
- ・楡葉町…1,300部
- ・富岡町・大熊町…700部
- ・浪江町…800部



JR双葉駅

2020年3月14日からJR常磐線が全線再開し震災の影響で運休が続いていた不通区間はすべて解消されています。双葉駅は新しく橋上駅舎となり、東西自由通路が整備され、駅前にはイベントなどにも使える広場が設けられました。



双葉町ダルマ市

毎年1月に行われている双葉町の伝統行事の1つです。縁起物の「双葉ダルマ」の販売や南北でわかれて巨大ダルマを引き合う「巨大ダルマ引き」などの催し物が行われます。震災後は避難先であるいわき市で開催されてきました。来年は震災後初めて、双葉町内での開催を予定しています。



東日本大震災・原子力災害伝承館

原子力災害を中心とした資料を展示・保存、震災の記憶の風化防止のための情報発信を行っています。2020年9月20日に開館し国内外から多くの方が訪れ、今年の10月には来館者15万人を突破しました。

双葉町産業交流センター

2020年10月1日にオープンしたこの施設はフードコートやレストラン、土産物店などの商業施設と貸会議室・貸事務所が入る複合施設です。



町民や町を訪れた方、企業関係者の方等、幅広い方々が交流する拠点となっています。



双葉町ダルマ市 2023年1月7日(土)・8日(日)

取材・写真提供協力：双葉町

<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp>

ふくしまの今、彩発見。

vol.84 「まちの駅 素敵な笑顔に逢える駅」 (まちなかサロンヨッテミ)

伊達市霊山町のメインストリート中ほどの掛田郵便局近くに「まちの駅 素敵な笑顔に逢える駅 まちなかサロンヨッテミ」があります。もともとは平成27年4月に伊達市から指定管理の依頼を受け交流スペースをオープン。以降、月替りの恒例イベント等コミュニティ活動をつづけてきましたが、この数年は新型コロナウイルスや地震の影響もあり休館やイベントも年2、3回程度に自粛しながら運営につとめています。今年は4月に写真展、6月にアクリルガラス作家さんの展示即売会、7月にヨッテミカフェ、11月には焼き芋販売やXmasイルミネーションを初点灯します。ヨッテミ自慢の本格的焙煎珈琲(150円)を召しあがりながらこの冬にほっと一息つきませんか。



▲本格的な焙煎珈琲 ▲新米に合せおにぎりカフェを10月に初開催 ▲フォトクラブ写真展示会
▲ヨッテミ焼き芋販売 ▲手づくり扇子のワークショップ ▲モモ子切り絵展示会

まちの駅 素敵な笑顔に逢える駅 まちなかサロンヨッテミ (NPO法人りょうぜん楽しもう会)

伊達市霊山町中町22-3
TEL.024-572-3765 FAX.024-572-3767
<https://www.yottemi.jp>



なるほど!福島なんでもランキング

統計

「ローカル線」で旅行してみたい都道府県 (ねとらぼ調査隊インターネットアンケート)

順位	地区	都道府県	票数
1	北海道・東北	北海道	74
2	北海道・東北	福島県	43
3	九州	長崎県	28
4	北海道・東北	岩手県	25
5	東海	岐阜県	24
6	北海道・東北	青森県	23
7	九州	鹿児島県	21
8	九州	熊本県	18
9	関東	長野県	18
10	中国	島根県	16

出典：ねとらぼ調査隊「ローカル線で旅行してみたい都道府県」2022年投票結果

アイティメディア株式会社のインターネットメディア「ねとらぼ」が2022年10月16日～23日に行ったアンケート(有効回答数597票)によると、鉄道の「ローカル線」で旅行してみたい都道府県で、福島県は第2位となった。

今年の福島県のローカル線の話題といえば、10月1日の只見線全線運転再開だ。このアンケートとドンピシャのタイミングである。2011年7月の新潟・福島豪雨によって会津川口～只見駅間が不通となってから11年、廃線の危機を乗り越えての「復活」に地元は沸き立っている。

もともと風光明媚な奥会津、只見川に沿って走る路線は四季折々の車窓の風景が美しいことが知られていたが、復活を目指して活動する地元写真家によって、只見線を被写体とする風景写真が話題に。只見線を撮影するために国内外から観光客が訪れるようになり、存続への後押しとなった。

全線再開から1ヶ月が経ち、只見線は週末ともなると「通勤電車」並みの大混雑で、JR東日本は増便したり車両を増やしたりと対応に大わらわだという。せっかくの旅行が「混んでいた」という思い出だけにならないよう、地元自治体も含め更なる対応が求められている。

2023

1

January

睦月

昨年1月、福島市の天気・最高気温です。

今日は何の日?

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1 元日 初詣 パブリックドメインの日	2 箱根駅伝 新聞休刊日	3 三日月 ひとみの日 駆け落ちの日	4 御用始め・大発会 世界点字デー 石の日	5 囲碁の日 いちごの日 魚河岸初詣	6 小寒(二十四節気) ケーキの日 カレーの日	7 七草 爪切りの日 千円札の日
8 平成スタートの日 勝負事の日 ロックの日	9 成人の日 風邪の日 クイズの日	10 110番の日 明太子の日 糸引き納豆の日	11 鏡開き 塩の日 マカロニサラダの日	12 スキーの日 いいにんじんの日 桜島噴火大隅半島と陸続き(1914)	13 遺言の意味を考える日 咸臨丸出港(1860) 東京氷点下9.2℃(1876)	14 松納 左義長、どんど焼き 南極大陸でタロとジロの生存確認(1958)
15 小正月 手洗いの日 いいいちごの日	16 禁酒の日 念仏の口開け 日本初のアイススケート場オープン(1876)	17 土入入り おむすびの日 阪神・淡路大震災(1995)	18 118番の日 明暦大火(振袖火事)(1657) 米騒動(1890)	19 空気清浄機の日 家庭消火器点検の日 のど自慢の日	20 大寒(二十四節気) 甘酒の日 血栓予防の日	21 料理番組の日 スイートピーの日 手巻寿司の日
22 カレーライスの日 ジャズの日 日本初の白熱点灯(1887)	23 電子メールの日 アーモンドの日 めかぶの日	24 ゴールドラッシュの日 給食記念日 郵便制度施行記念日	25 中華まんの日 ホットケーキの日 主婦休みの日	26 文化財防火デー 腸内フローラの日 コラーゲンの日	27 国旗制定記念日 ハワイ移民出発の日 求婚記念日	28 日本初の日刊新聞創刊(1871) 衣類乾燥機の日 コピーライターの日
29 タウン情報の日 初めての全国戸籍調査(1872) 昭和三地開設記念日	30 おからの菓子の日 公衆電話3分10円に(1970) 百武彗星発見(1996)	31 愛妻の日 生命保険の日 アロハの日	<p>【2023年1月の天候予想】 北日本は日本海側で平年同様に曇りや雪の日が多く、太平洋側で平年同様に晴れの日が多いでしょう。東・西日本は日本海側で平年に比べ曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側で平年に比べ晴れの日が多いでしょう。沖縄・奄美では、平年同様に曇りや雨の日が多いでしょう。(日本気象協会)</p>			

たかはしこうじのマーケティングスパイス

Marketing Spice



高橋 幸司 たかはしこうじ
 有限会社高橋幸司の事務所取締役社長、
 中小企業診断士、産業カウンセラー。家族
 経営の事業所中心に3,078回以上コン
 サルティング。店主の商売醍醐味満喫を
 支援し、存在価値で負けない店・人づく
 りを志向。2021年「うまくいく応えは店
 主がお持ち」をモットーに、傾聴ありき
 のコンサルティング「Bilcon7」を開始。

207

うまくいく応えは店主がお持ち

非常識な手紙

商談上手で思い出すのは、お茶の小売店を営む男性店主。彼は、商談を取り付けるために電話やメールを使わない。最初は手紙、それが彼の流儀だ。自店で扱いたい逸品を見つけると、つくり手を調べ、観察し、相手が納得するのに十分な情報を紙面に込める。

また、最初の手紙はコピーを残すという彼。過去に菓子店、漬物店に出した2通を見せてもらおうと、共通点に気づいた。まず、段落が3つあること。そして、1段落目にボリュームがあり、引き込まれる内容だったこと。

なぜ、引き込まれたのか？それは、冒頭にありがちな時候の挨拶を省き、自己紹介も後回し。最初から店の所感を伝えていたから。読み手は、非常識な構成に驚くはず。それでも、貴店に興味があります、通っています、そして、いろいろ気づきました、ということが最初に来れば、読み進めるほかない。

菓子店への、いろいろ気づきました、の概要は、こんな感じだった。天候にかかわらず開店1時間前には店を開けている。夕方に行っても手が触れる扉のガラス面はきれいに拭いてある。定休日前は午前中に欠品(つまり完売)が多い。宅配業者にもお客様へと同じ角度と声量で一礼する。曜日によって販売員が変わる、など。先方が、よくみてるねえと、苦笑いするような視点も含めて、率直に伝えていた。

いろいろ気づきました、とは、貴店の逸品、この場合は菓子を食べた感想を含んでいない。逸品に驚き、それをつくり出す店に興味わき、足を運び続け、観て気づいたことが全て。そして満を持して筆を持ったこと。SNSに上がるようなことには触れず、賞賛は控え目に。相手が今まで言われたことがないような、新しい視点の感想を、五感で観察しなければ使えない言葉を使って伝える。

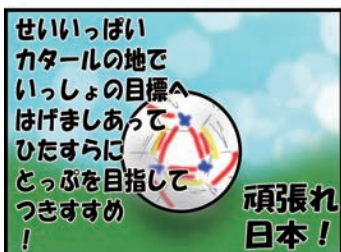
コピーを見せてもらった後、挨拶文なしですね、と彼に振ると、いらないでしょ、忙しいから(先方が)、と笑われた。逆に、数量や掛け率、支払いなど、お金の話を2段落目以降でしっかり伝える。もちろん、失礼ながらと前置きをして。初めての手紙ではタブーと思われがちなることを、だ。これは、相手が聴きたいことは先に伝える、という彼なりのマナー。

ふと、後を継いだ時のことを振り返る彼。周りは自分より年上ばかり。商談するにも、どう連絡してよいかわからなかった。会いたい人は忙しく、電話で捕まえるのは至難の業。苦肉の策が手紙だった。最後に彼のいいところをもう一つだけ。苦勞して口座が開けた取引先に対し、今も手紙を書くという。ちょうど、取引が始まった季節に「おかげさまで」と、感謝を伝える。この一通で当時の初心に立ち返り、覚悟を思い出す。それは彼だけでなく、先方も同じではないか。

(2021年3月8日執筆)

てっちょちゃん

vol.125 キラ アスカ作



小 からの ケ
耳 からの ノリ
な の
話

column

48

福島の秋 紅葉の秋

秋を彩る紅葉。紅葉樹の一つであるもみじは「紅葉」という国字(日本で独自に作られた字)でも表されるほど、日本人に古くから親しまれています。福島県内では10月中旬から11月中旬にかけて各地で紅葉が見頃を迎えました。



▲磐梯吾妻スカイライン(10月中旬撮影)



▲白水阿弥陀堂(11月上旬撮影)



▲花と歴史の郷 蛇の鼻(11月上旬撮影)



KenOri

株式会社 ケンオリ

https://kenori.com



【本社】〒963-0724 郡山市田村町上行合字北川田26-3 tel.(024)944-8400 fax.(024)944-9980

【福島支社】〒960-2101 福島市さくら3-2-7 tel.(024)594-2155 fax.(024)594-2156

【いわき営業所】〒970-8025 いわき市平南白土2-6-3 tel.(0246)24-2500 fax.(0246)24-2504

【会津若松営業所】〒965-0059 会津若松市インター西75 tel.(0242)22-6300 fax.(0242)22-6302

【仙台営業所】〒980-0014 仙台市青葉区本町1-13-24 錦ビル2F-A tel.(022)217-6766 fax.(022)721-5580